

未来を創る — 未来を拓く

CREATION and PROGRESS



財団法人 **兵庫県建設技術センター**
Hyogo Construction Technology Center

ごあいさつ



財団法人 兵庫県建設技術センター

理事長 前田 増夫

我が国は、人口が増加し経済も発展するという成長の時代から少子高齢化等に伴う成熟した社会へと一大転換期を迎えています。

こうした中、人々の価値観は物から心の豊かさへと大きくシフトしており、個人や地域の主体性が十分発揮できるライフスタイルの構築や生活者の視点に立った地域づくりが求められております。

このため、新しい時代への「改革と創造」に常に挑戦していくことが重要であり、既に公共事業の執行についても効率化、重点化、透明化等に向け様々な取り組みを進めて参りましたが、成熟社会にふさわしい魅力ある県土を「つくり・そだて・まもる」ためには、公民が協働して地域の発展に努力しなければなりません。良好な公民協働の関係を築いていくために県民と双方向のコミュニケーションを深めていくことが建設行政に携わる者に課された重要な責務と考えております。

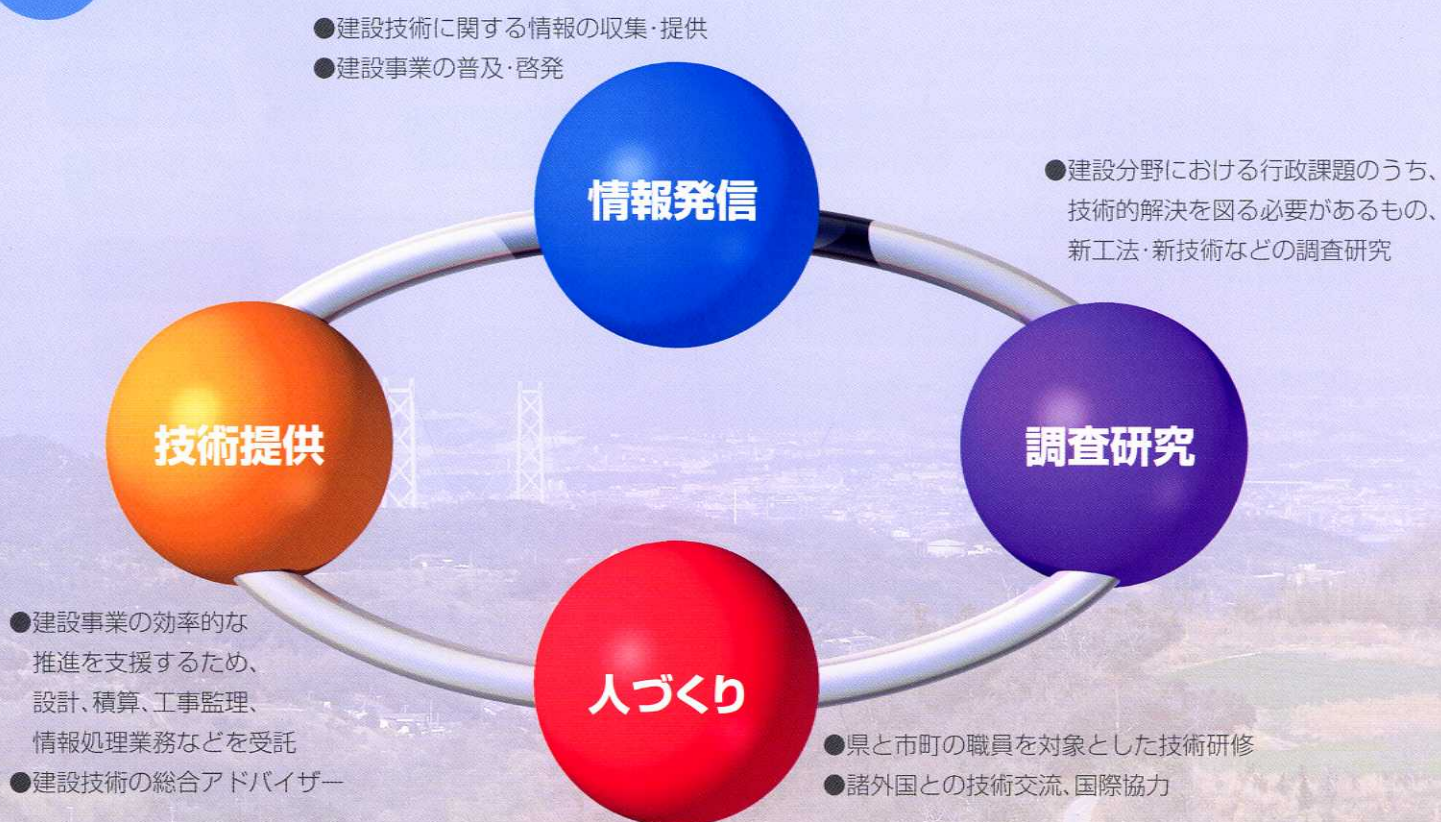
新しい千年紀を迎え、良質な基盤整備を積極的に推進する必要がありますが、事業の実施に当たっては取り組むべき課題が広汎で複雑多岐にわたるため、それぞれきめ細やかな対応が必要であります。そこで、県と市町を技術面で支援する機関として財団法人兵庫県建設技術センターの果たすべき役割と責務は、ますます重要になっていくものと認識しております。

当センターでは、県や市町の建設事業が一層円滑に推進され、良質な社会資本の蓄積に寄与できるよう、業務内容の拡充と技術力の向上に努めて参りますので、皆様方のご支援・ご協力並びに活用をお願い申し上げます。

設立目的	兵庫県及び県内市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を支援するため、建設技術に関する調査研究や研修、並びに建設事業に関する設計、積算、工事監理、情報処理業務等を行い、もって良質な社会資本の整備に寄与する。
基本財産	3億円
出捐者	兵庫県及び県内21市66町
設立年月日	平成8年4月1日

平成12年7月

センターの業務



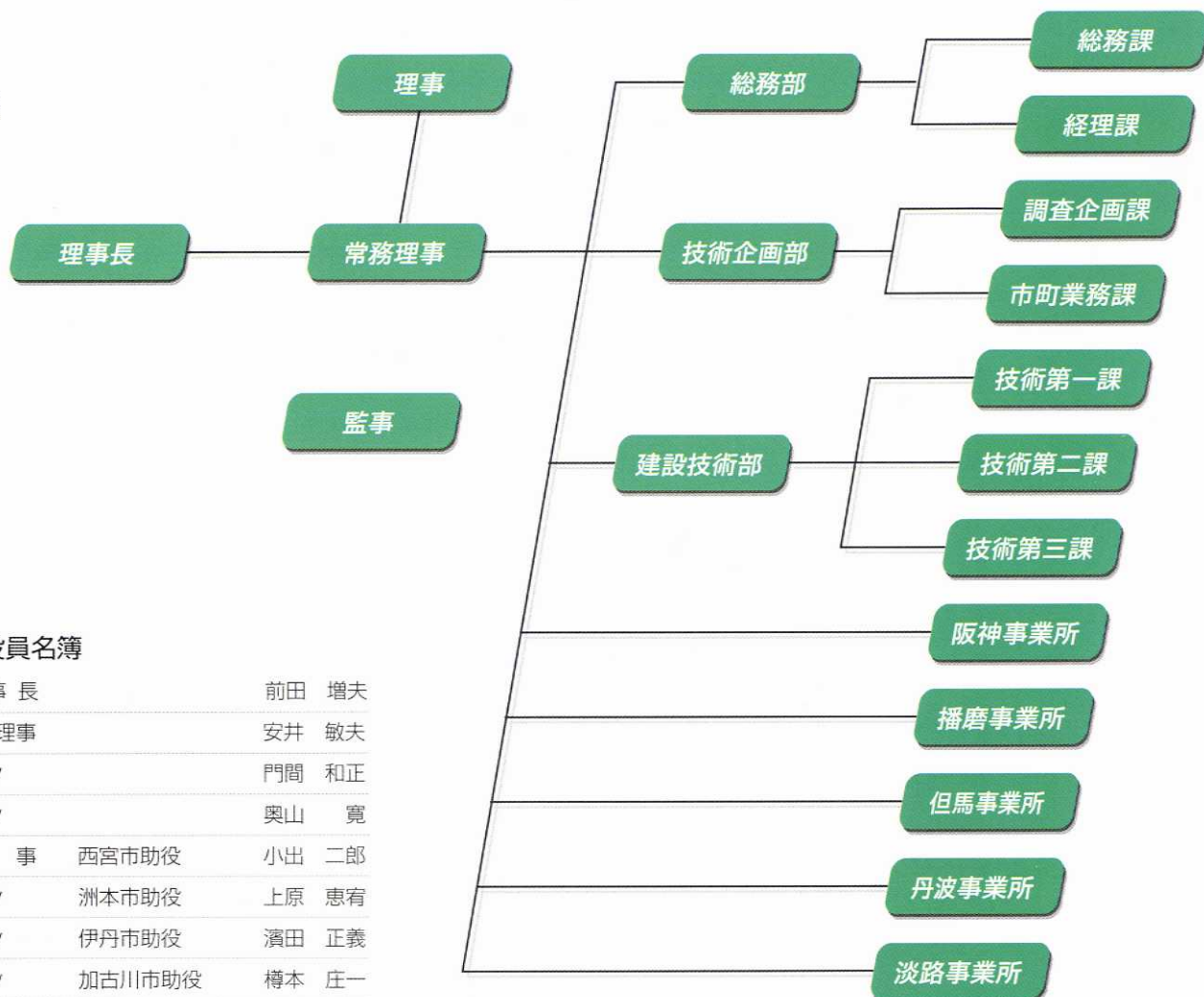
センターの特色

県と市町の建設行政を支援するために設立された公益法人であり、地方公共団体が行う建設事業に関する業務の委託に適しています。

常に技術力の研鑽に努め、業務の的確性を期するとともに、機密の保持にも万全を期しています。

センターを活用することにより、技術基準や積算基準の運用の統一化を図ることができ、水準の高い建設事業の執行が期待できます。

●組織図



●役員名簿

理事長	前田 増夫
常務理事	安井 敏夫
//	門間 和正
//	奥山 寛
理事	西宮市助役 小出 二郎
//	洲本市助役 上原 恵宥
//	伊丹市助役 濱田 正義
//	加古川市助役 樽本 庄一
//	赤穂市助役 豆田 正明
//	香寺町助役 中安 清夫
//	佐用町助役 庵谷 典章
//	但東町助役 渋谷 喜正
//	氷上町助役 長久 哲男
//	西淡町助役 西岡 幹夫
//	兵庫県県土整備部 企画調整局長 野村 正路
監事	矢野 弘雄
//	播磨町助役 西田 時雄

平成12年7月現在

●技術顧問

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	京都大学教授	トンネル工学、岩盤工学
藤田 和夫	断層研究資料センター理事長(大阪市立大学名誉教授)	地質学
村橋 正武	立命館大学教授	都市計画、地域計画

(50音順)

●職員数

区分	兵庫県職員	県土地開発公社職員	固有職員	計
総務部	7		3(3)	10(3)
技術企画部	8	1	2	11
建設技術部	10	2	3	15
事業所	17	6	7	30
計	42	9	15(3)	66(3)

()内書は県への派遣職員

●職員の技術資格一覧

資格	人数
技術士(建設部門)	2
技術士(水道部門)	1
RCCM	1
1級土木施工管理技士	15
2級土木施工管理技士	4
1級造園施工管理技士	2
2級造園施工管理技士	3
コンクリート技士	4
測量士	9
測量士補	11

事業計画

新しい千年紀の開幕を迎え、本格的な少子・高齢社会の到来と国際化、個性化、情報化の進展、さらには深刻化する環境問題など、今日の社会情勢は大きく変化している。

こうした成熟社会への流れの中で、公共事業の分野においても、これらの変化を見据えて住民のニーズに対応しながら、より良質な社会資本の整備を図っていかねばならない。

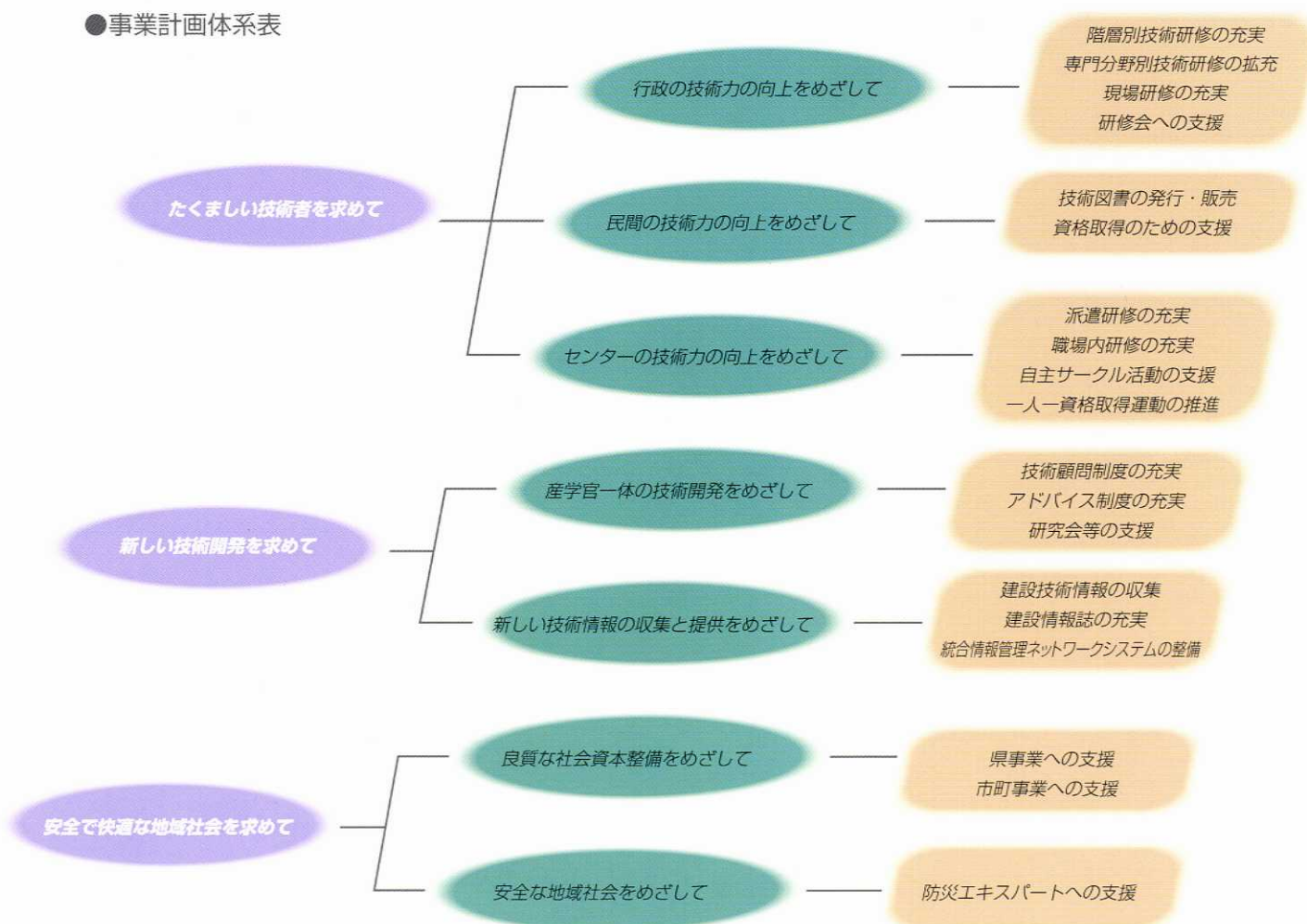
このためには、アカウンタビリティ(説明責任)の向上やディスクロージャー(情報開示)の推進に努めながら、住民に社会資本整備の必要性、重要性を正しく理解していただく努力をすることに加え、建設コストの縮減、品質確保、事業評価の強化等に一層取り組んでいく必要があり、このような問題に対応した技術の向上・開発が求められている。

こうした状況下において、公共事業に携わる建設技術者に課せられた使命と役割は極めて大きなものがあり、一層の知識や技術の涵養・研鑽が求められている。

また、兵庫県では、新しい時代に適合した行財政システムの確立をめざし、平成20年度までを見通した「行財政構造改革推進方策」を策定し、その中で本センターについては、設計・積算・工事監理業務等の委託拡大などにより積極的な活用を図ることが期待されている。

これらの社会的要請に応えるため、県、市町との連携のもとに平成12年度は、「たくましい技術者を求めて」、「新しい技術開発を求めて」、「安全で快適な地域社会を求めて」を三本の柱として事業を積極的に展開し、より一層事業内容の充実に努める。

●事業計画体系表



建設行政に携わる技術者が、自らに課せられた使命と役割を果たせるよう、専門知識・技術力を養う研修の開催や、技術図書の発行などを行います。

1. 行政の技術力の向上をめざして

(1) 階層別技術研修の充実

建設技術職員の資質の向上を図るため、県及び市町の職員を対象に、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

●県土木職

研修名	対象と内容
採用職員研修	当年度の採用職員／3日／新任技術職員としての基礎知識を修得
フォローアップ研修	前年度の採用職員／2日／測量～設計～積算の実務演習など
中級職員研修	採用後概ね6年程度の職員／1日／技術基準など専門知識の修得
中堅職員(主任)研修	当年度の主任昇格者／2日／課題解決能力を養う事例研究など
5級職員研修	地方機関の課長補佐／2日／政策課題に関するグループ討議など



フォローアップ研修

●市町建設事業担当職員

研修名	対象と内容
新任研修	実務経験が3年以内の職員／2日 積算、施工、監督など、職務上の基礎知識を修得
中堅研修	実務経験が10年程度の職員／2日 調査、設計、施工における役立つ専門知識を修得
部・課長研修	管理職等／1日 建設行政を巡る話題と情報を提供



部・課長研修



新任研修

(2) 専門分野別技術研修の拡充

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県及び市町の実務担当職員を対象に開催します。



技術講習会

テーマ	講義内容
舗装	アスファルト舗装の構造設計、材料、配合設計、品質管理等
PC橋	プレストレストコンクリートの基本、PC桁橋の計画と施工、製作・架設の積算
鋼橋	鋼橋の計画・設計・製作・輸送のポイント、架設工法、製作・架設の積算
道路計画	道路計画の手順と注意事項等
地質調査	設計に用いる地盤情報と調査計画、主な調査方法、失敗事例

(3) 現場研修の充実

県内外の先進的な建設事業や取り組みを学ぶ場として、県及び市町の実務担当職員を対象に現場研修会を開催します。

研修名	日数
現場研修会	1日(年2回)
県外研修会	1泊2日



県外研修会(中国地建 温井ダム建設現場)

(4) 研修会への支援

土木事務所等が主催する研修会に要請を受け、講師の派遣等を支援します。

2. 民間の技術力の向上をめざして

(1) 技術図書の発行・販売

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。

- 主な出版物
「土木設計業務等委託必携」「詳細設計照査要領」
- 平成12年度出版予定図書
「小型構造物標準図集」

(2) 技術資格取得のための支援

「2級土木施工管理技術研修」にセンター職員を講師として派遣し、民間技術者に対し資格取得を支援します。

3. センターの技術力の向上をめざして

(財)全国建設研修センターなどが主催する各種の研修会にセンター職員を派遣するとともに、その報告会などの職場内研修を随時実施します。

また、センター職員に対し、業務に関連する自主研究活動や資格取得を支援します。

新しい技術開発を求めて

公共事業に対する社会からの様々な要請に応じていくため、各地で進められている新しい取り組みや技術情報を広く収集し、県や市町に提供します。

1. 産学官一体の技術開発をめざして

(1) アドバイス制度の充実

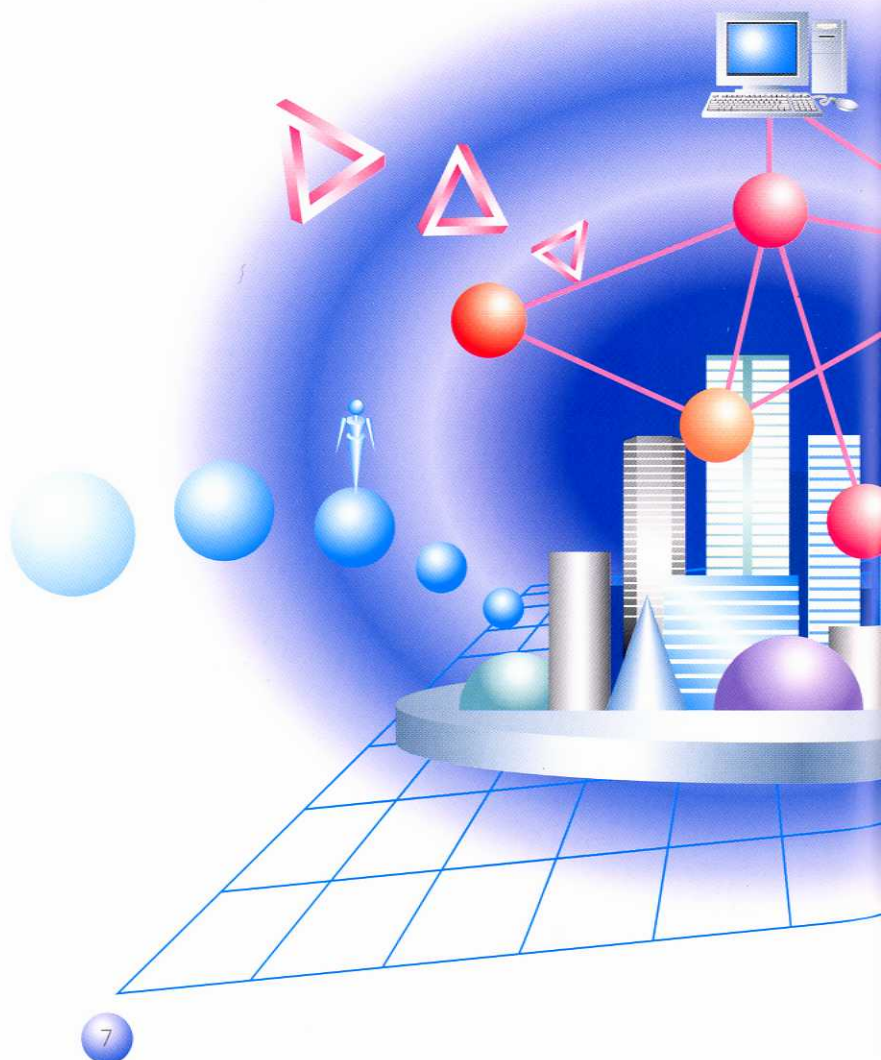
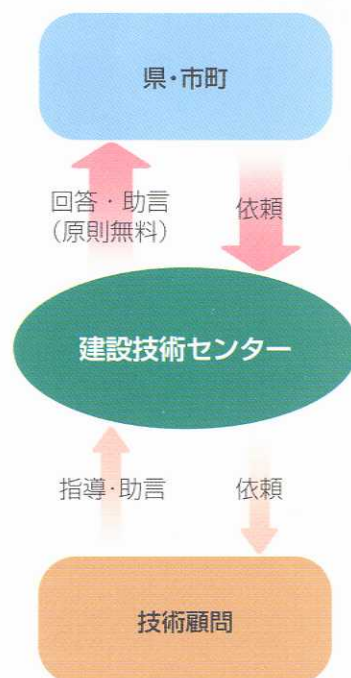
建設技術に関する質問や相談に対し、センターが有する技術力や情報、さらには技術顧問制度も活用しながら、回答や助言を行います。

(2) 技術顧問制度の充実

センターが行う諸事業や、県・市町からの相談に対し、専門的な指導や助言を受けるため、大学をはじめ各界の識者にセンターの技術顧問を依頼しています。

(3) 研究会等の支援

県や市町が実施する土木行政に係る研究会等を支援します。



2. 新しい技術情報の収集と提供をめざして

(1) 建設技術情報の収集

新工法、新技術に関する情報(計画書・報告書・パンフレット・定期刊行物)の収集、専門図書の充実を図るとともに、建設技術の国際化に対応するための調査・研究を行います。

(2) 建設情報誌の充実

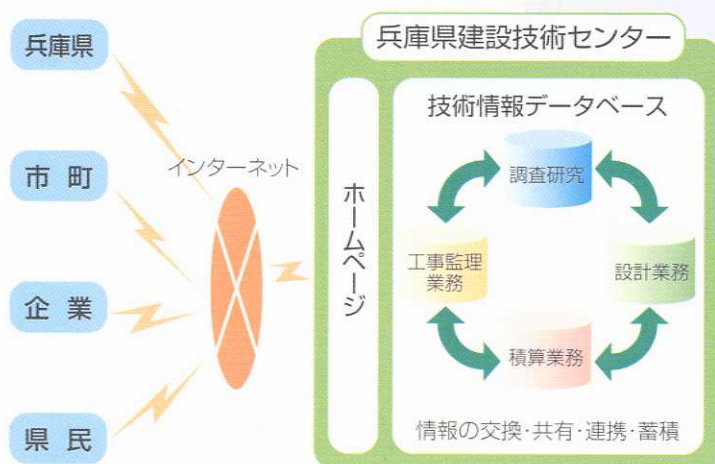
建設事業の紹介や建設技術の情報を提供するセンター機関誌「CON-TECH ひょうご」を年3回発行し、県や市町の職員に配布します。



CON-TECHひょうご

(3) 統合情報管理ネットワークシステムの整備

近年の情報化の進展に対応するため、インターネットを利用した情報交換、基幹データベース構築による情報の共有化などを開始することにより、県・市町に対する業務支援の充実とセンター内部の事務の効率化を図ります。



統合情報管理ネットワークシステム(概念図)

安全で快適な地域社会を求めて

県や市町が行う公共事業に関して、その効率的な推進を支援するため、設計、積算、工事監理等の業務を受託します。

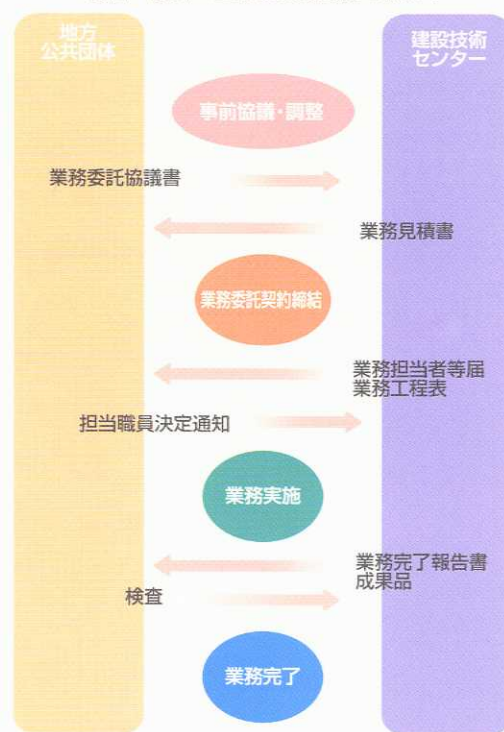
また、大規模災害発生時において、被災状況の通報など支援活動を行う「防災エキスパート登録制度」を運営します。

1. 良質な社会資本整備をめざして

県事業及び市町事業への支援

- 県・市町が実施する公共土木工事の設計、積算、工事監理業務の受託
- 市町、企業庁、県外郭団体の積算システムに適合する積算基準データの提供

設計・積算・工事監理業務の流れ



道路・トンネル



工事名 (一) 竜泉那波線道路改良工事

積算／工事監理

委託者 兵庫県上郡土木事務所



工事名 (国) 178号香住道路香住トンネル建設工事

積算／工事監理

委託者 兵庫県浜坂土木事務所

■ 橋梁

工事名 (町) 苅縄柏野線柏野橋
橋梁整備工事
設計管理／工事監理
委託者 上郡町



工事名 (一) 東灘芦屋線連絡橋P10ケーソン工事
積算／工事監理
委託者 兵庫県西宮土木事務所



工事名 (町) 二見森津線橋梁工事
積算
委託者 城崎町

■ 河川



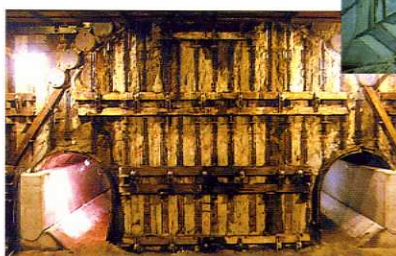
工事名 岩屋谷川改良復旧事業(関連、助成)
設計／積算
委託者 兵庫県柏原土木事務所



工事名 (二) 新湊川河川災害復旧助成工事
(トンネル呑口側工区)

積算／工事監理

委託者 兵庫県神戸土木事務所



■砂防

工事名 (砂)名ヶ谷川堰堤工事

積算／工事監理

委託者 兵庫県八鹿土木事務所



工事名 宝生ヶ丘地すべり防止工事

工事監理

委託者 兵庫県西宮土木事務所

■緑地保全



工事名 大河内高原緑地保全管理工事

積算／工事監理

委託者 兵庫県県民生活部

■港湾



工事名 淡路交流の翼港工事

(防波堤、護岸、橋梁、緑地)

積算／工事監理

委託者 兵庫県洲本土木事務所

■造成・処理施設



工事名 一般廃棄物最終処分場建設工事

設計／積算／工事監理

委託者 北但行政事務組合

■地下道



工事名 災害対策棟地下連絡通路建設工事

設計／積算／工事監理

委託者 兵庫県企画管理部

2. 安全な地域社会をめざして

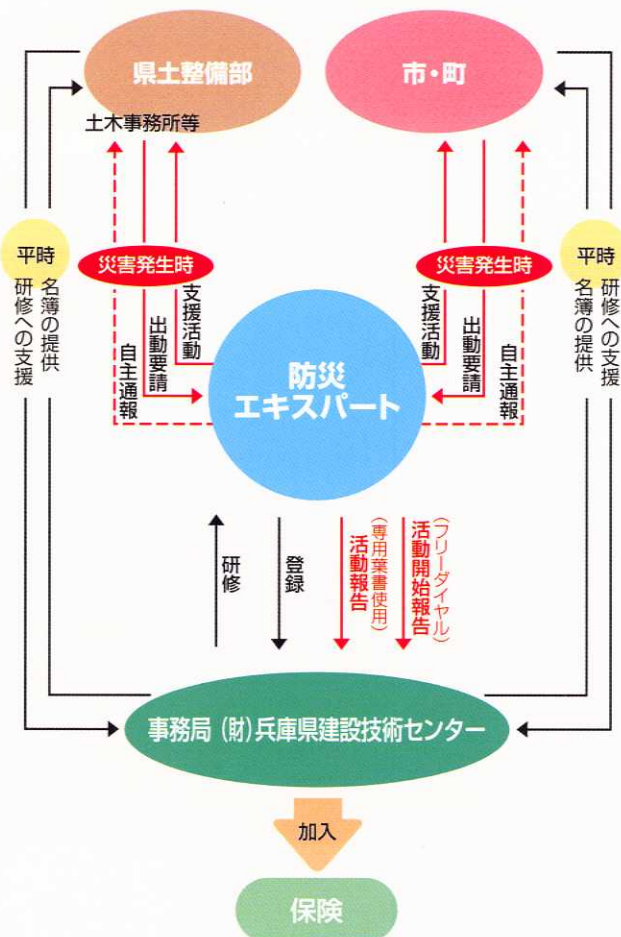
兵庫県防災エキスパート登録制度の支援

災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、今後の大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、兵庫県建設技術センターが事務局となって運営しています。



防災エキスパート携行品

兵庫県防災エキスパート登録制度



●防災エキスパートの登録状況 (平成12年7月現在)

出身団体	人数
国	3
県	229
市町	57
その他	2
合計	291

研修会



●防災エキスパート制度の活用

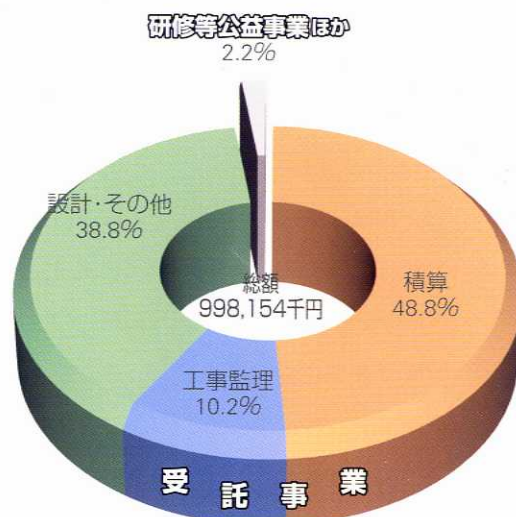
公共土木施設の管理者である県や市・町は、事務局と締結する「活用に関する協定」に基づき、この制度を活用しています。



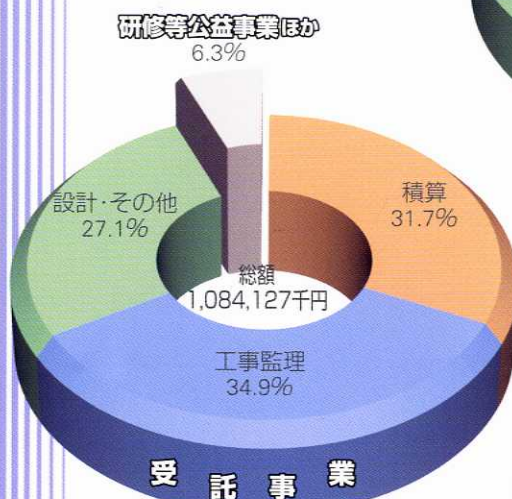
事業実績と計画

事業の内訳

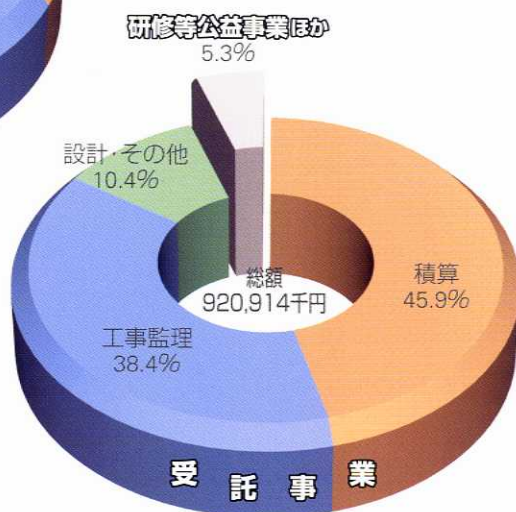
センター事業のあらましを収入額(受託事業、公益事業ほか)、受託事業の件数(工種別、業務別)、研修の開催日数と参加人数によりお示します。



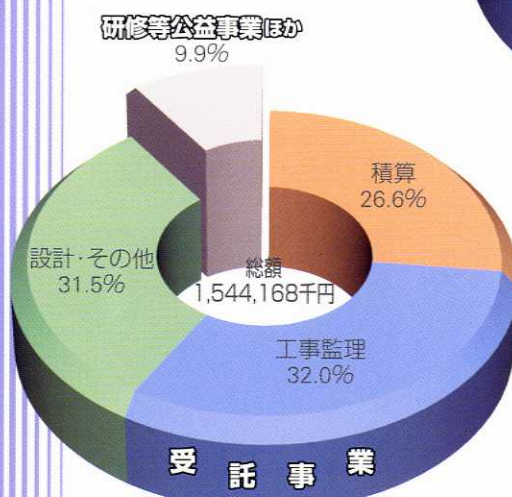
平成8年度



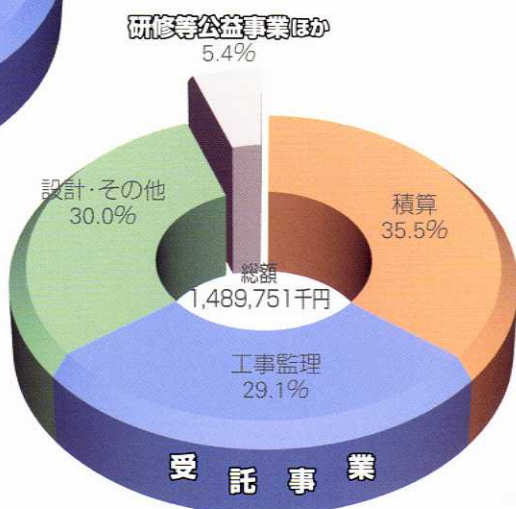
平成9年度



平成10年度

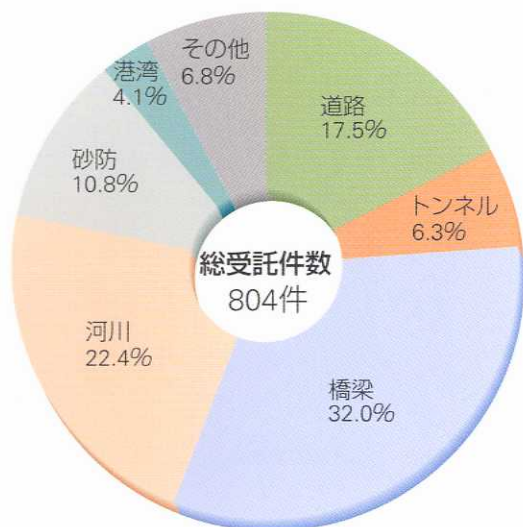


平成11年度



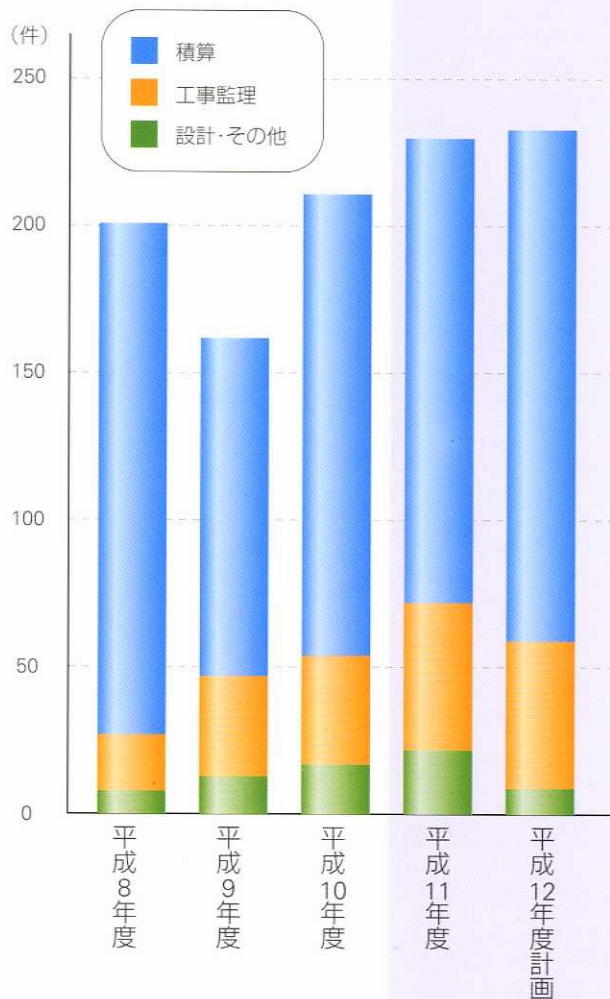
平成12年度計画

工種別受託件数

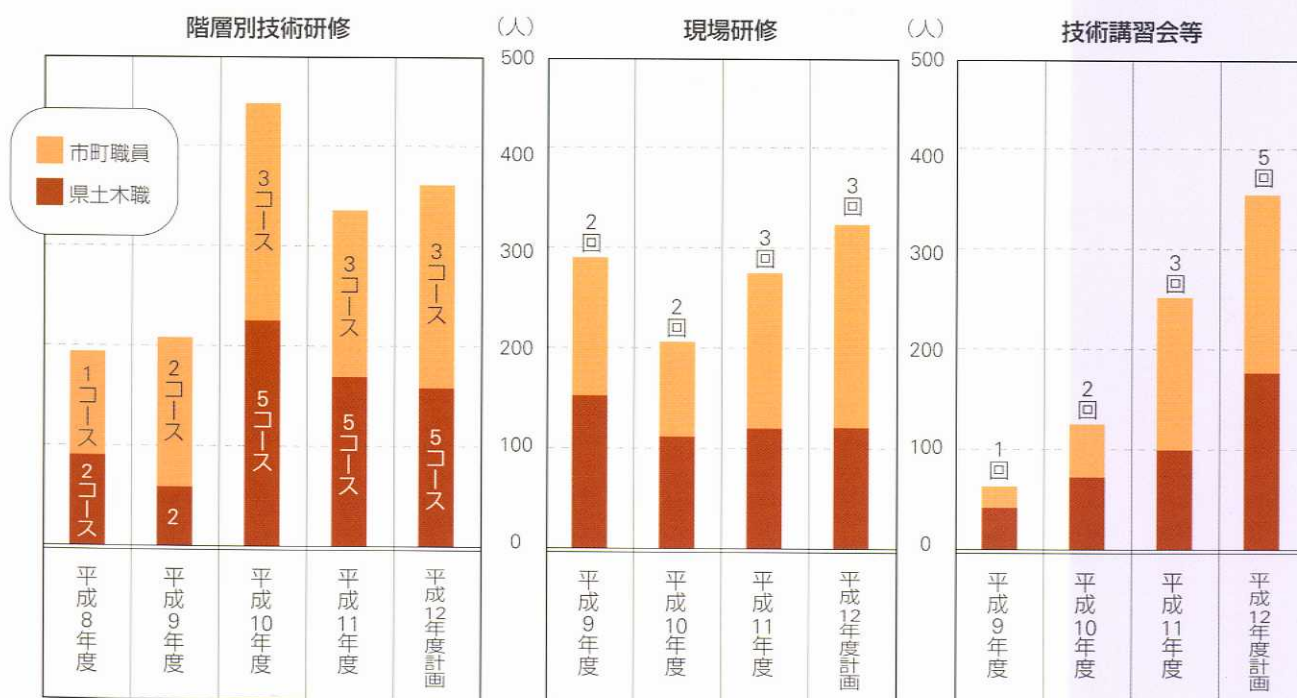


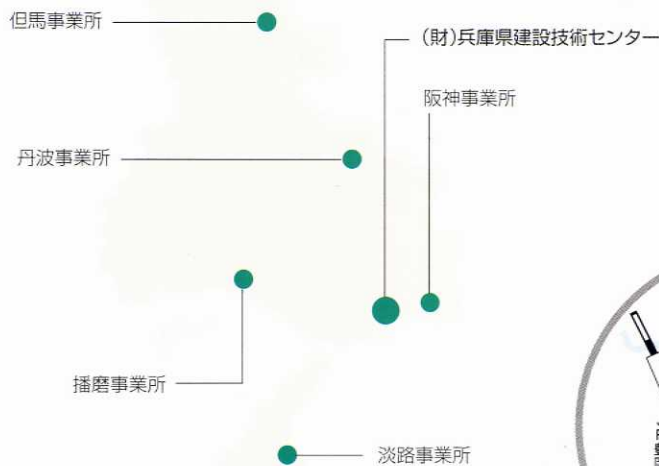
平成8年度～11年度の合計

業務別受託件数



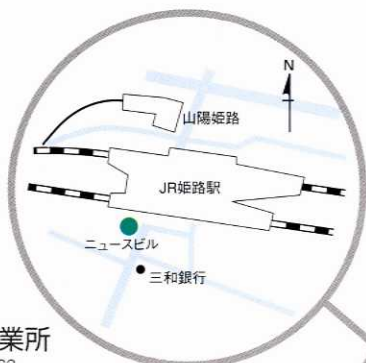
研修の開催回数と参加人数





但馬事業所

〒668-0055
豊岡市昭和町2-56 (サカモトビル2F)
TEL 0796-29-3031
FAX 0795-29-3073



播磨事業所

〒670-0962
姫路市南駅前町124 (ニュースビル7F)
TEL 0792-81-3377
FAX 0792-81-3388



淡路事業所

〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1
(洲本ポートターミナルビル2F)
TEL 0799-25-5150
FAX 0799-25-5170



丹波事業所

〒669-3309
氷上郡柏原町柏原1521
TEL 0795-73-3750
FAX 0795-73-3660

財団法人 兵庫県建設技術センター

〒651-0085
神戸市中央区八幡通3-2-5 (I-N東洋ビル4F)
TEL 078-272-4200
FAX 078-272-4207



阪神事業所

〒662-0857
西宮市中前田町1-25 (和成ビル5F)
TEL 0798-34-2275
FAX 0798-34-2285